

## ◆ 平成27年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 エコ. エコ

代表者：加倉井憲一

URL : <http://members3.icom.home.ne.jp/kaerunomaru/>

### 1. 活動が必要とされた状況

保全による生きものの保護や自然植生の再生、自然を理解し体感する観察会、視野を広げるための環境講演会等は、私たちの活動の柱です。これらの活動を行うために助成を必要としました。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

講演会 6月28日「身近な環境保護」ビオトープでつながろう

湿地保全 月2回 第2木曜、第3金曜 他に臨時保全を実施

観察会 見沼自然公園にて月1回

里山.com 畑、森、湿地での保全体験 不定期

学校教育 チャレンジスクール支援 不定期

イベント SAVE JAPAN2015、コープ未来フェスタなど

不在地主の森手入 不定期

ボランティア延べ人数 587人 一般延べ人数約 1,648人（内子ども 758人） 計 2,235人（2016年2月21日現在）



### 3. 活動の成果

- ・ 環境講演会では、基調講演としてドイツの環境保護をお話しして頂きました。日本でのアカガエルの保護について小学校の事例と当団体の報告も行いました。
- ・ 湿地内に作業路を作り、全体の手入れがメンバーに分かるようになりました。
- ・ 自然の仕組みを理解してもらうために、観察会を月1回開催しました。四季を通して自然を体感することで、多くの子どもたちの笑顔と若い保護者の方々の理解を得られました。助成して頂いたバットディテクターや実体顕微鏡を利用した観察会は、知識の幅を広げることに役立ちました。



・ イベントでは、SAVE JAPAN2015のイベントを実施し、多数の参加者が湿地の動植物を観察しました。

- ・ 里山.comという名前のプロジェクトを立ち上げ、畑、森、湿地の体験をしてもらうことも始めました。父親の参加もみられるようになりました。未来の担い手が育つことを視野に入れて活動しています。

・ イベントでは桜フェスタ、コープ未来フェスタ、コムナーレ、ステラタウンなどでイベントを実施、自然理解の輪を広げました。

- ・ プラザイーストで見沼の写真、桜環境センターでは生きものの写真を展示しました。

### 4. 今後に残された課題

- ①環境教育、自然観察会を今後とも実施し、真の自然保護の理解者を増やす計画です。
- ②見沼原形保全区間にふさわしい場所に、少しずつ近づけるよう努力してまいります。
- ③他の施設や団体とコラボして活動の幅と奥行きを出していきたいです。
- ④自然というキーワードで多文化多世代交流を行い、自然理解の場を提供します。